

30通信

・おもしろいやるのある子
・おおいに学ぶ子
・おもしろい体を動かす子

令和7年9月18日(木) No.7

爽秋の候、保護者、地域の皆様におかれましては、日頃より学校行事への参加や子どもたちの見守りなど、本校の学校教育活動にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

夏休みが終わり、学校に子どもたちの素敵な笑い声が戻ってきました。また、登下校中の見守りでも、元気の挨拶が響いています。9月・10月の生活目標は「進んであいさつをしよう」です。ご家庭でも、自分から進んで挨拶ができるよう声かけをお願いします。

今号では、本校での「人権教育」についてお知らせします。

○「人権」とは

「人権」とは、「生きていたい」「自由でいたい」「幸福でいたい」という、すべての人に共通する三つの願いを支えるものであり、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」のことです。

《生存と自由を確保し、幸福を追求する権利》

人権とは？

[生きるために不可欠なもの]

○生命の保障 ○身体的自由 ○法の下での平等 ○衣食住の充足 など

[幸せに生きるために不可欠なもの]

○思想や言論の自由 ○集会・結社の自由 ○教育を受ける権利 ○働く権利 など

参考：日本国憲法「第三章 国民の権利及び義務」



このような権利がまとまった全体を「人権」と呼んでいます。

「人権」は、長い歴史的過程を経て発展・確立してきた人類普遍の原理です。「世界人権宣言」の第一条に「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない」とあるように、一人一人に固有の、不可侵の権利です。わが国にあっては、「日本国憲法」によって保障されている、最も基本的な権利です。

人権尊重の理念は、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」です。この理念には、次のような意味が含まれています。

人権の侵害は許されません。

・自分のもっている人権が侵害されることは、相手が誰であっても決して許されることはありません。

自他の人権を大切にします。

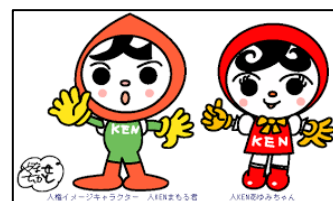
・だから、わたしも、他の人の尊厳や価値を尊重し、それを侵害するようなことはしません。

○「人権教育」とは

学校における人権教育とは、「人権について教え」「理解をたすけ」「人権尊重の価値観」「態度を育て」「行動へと向かわせる」ための総合的な教育活動です。

これからの社会は、情報化、国際化、高齢化などにより、あらゆる機会や場面で、様々な人権問題が起きることが予想されます。また、本市でも、依然として女性差別、児童の虐待、障害者の問題などの人権問題が存在しており、学校においては、いじめ、不登校、あるいは体罰など子どもの人権をめぐる問題が生じています。

そのため、学校教育には、児童生徒に人権感覚を身に付けさせ、人権意識を尊重して行動できるような教育を実施することが求められています。



○人権に関する主な課題

参考：沖縄県教育委員会「子どもの人権を守るために」

人権に関する主な課題

ア 子どもに関する課題

いじめ、教職員による体罰、親による虐待、国内外での児童買春や児童ポルノの氾濫など、子どもの人権をめぐる問題は深刻な状況になります。

イ 女性に関する課題

男女の固定的な役割意識、セクハラ問題、女性に対する暴力などがあります。

ウ 障害者に関する課題

障害のある方についての理解はいまだ不十分であり、障害のある人が職場において差別待遇を受けたり、店舗でのサービス等を拒否されたりするなどの問題があります。

エ 高齢者に関する課題

平均寿命の大幅な伸びを背景として、社会の高齢化が急速に進む中で、就職に際しての差別の問題、介護を要する高齢者に対する家庭や施設における身体的・心理的虐待等の問題があります。

このほかにも、LGBT（性的少数者）に関する課題、インターネットを介した人権侵害など、様々な課題や問題が日常生活の中に溢れています。

人権教育で大切なことは、「子どもの人権感覚を高める」とことと「子どもの人権を守る」ことです。人権教育で子どもたちの姿が変わっていきます。

人権を
知る

人権感覚が
磨かれる
理解する

お互いを尊重し合う行動がとれる
人権を守る意欲が高まる



人権感覚とは、人権が守られている状態を感知し、これを望ましい状態と感じ、反対に、これが侵害されている状態を感知したときには、それを許せないと感じる感覚です。

○4年生「人権教室」

本校では毎年、4年生を対象に外部講師を招いて「人権教室」を開催しています。いじめを題材にしたアニメーションを見た後に、友達との話し合い活動を通して自分の考えや友達の考えを共有し多様な考え方を認め、深めています。その他の学年でも、道徳や特別活動の時間を活用し上記の課題や問題について適宜学習しています。



学校生活や放課後の過ごし方、登下校に関して何かありましたら、右記までご連絡いただくと幸いです。

千葉市立山王小学校
電話：043-422-2811
生徒指導担当